

## 2024 - 2025年度 常任委員会・総会・懇親会：今年も盛大に開催



ヒューストン日本商工会は令和六年度(2024-2025)を迎えました。

10月度常任委員会・年次総会・懇親会は10月23日(水)、おなじみUnited Way of Greater HoustonのCRCで盛大に開催されましたので、ご報告致します。

午後5時からCRCで開催された常任委員会では、濱田商工会会長からの、自己紹介、エネルギー・経済状況、商工会の成長等を踏まえたご抱負の挨拶に始まり、長沼総領事からは当地でのパスポート更新に関わる注意と各種シンポジウム開催などの総領事館の活動報告がありました。また、新理事委員の紹介に続き、会計報告、他団体対応報告、また直近の講演会等に関する説明、ならびに今年度の年間会議・行事スケジュールなどの事務局連絡が行われました。会計報告の中では、商工会の令和五年度決算の報告と承認、令和六年度予算案の承認が行われ、新年度の始まりが確認されました。

休憩の後、午後6時より同会場で、正個人会員と準会員も参加されて年次総会が行われました。濱田会長から前会長への感謝、ご経歴のご紹介、昨今のヒューストンと商工会の成長と所感などのお話をいただき、旧年度役員・特命理事・委員長による令和五年度の年間活動報告がありました。これにより、役員会やアンケート、経済団体としての活動の活性化、広報紙ガルフストリーム改善、六者交流会やジャパンフェスティバル、講演会、古本市、会計、補習校活動などの商工会活動実績が伝えられました。続いて、令和六年度理事委員紹介と常任委員選任報告が行われ、総領事から、パスポート更新に関わる注意連絡と総領事館の活動報告がありました。

総会の最後には、ヒューストン日本語補習校校長の岡林健児氏をゲ

### 補習校の現状について



ストとしてお迎えし、ご講演いただきました。ご講演では、「宇宙に一番近い補習校」と呼ばれ、今年度で創立53周年を迎えた歴史ある学校であること、商工会の支援の下で運営委員会と事務局、教師陣が教育目標に沿って鋭意運営されていることのご報告がありました。また、駐車場の使用制限など、様々な課題もあるなか、保護者の皆様の協力で克服しているところですが、商工会会員数の増に伴う生徒数の増に対応するため、教員募集についても、是非とも会員企業にもご協力を賜りたい旨、お願いがありました。

午後7時からの懇親会は同会場で開催され、濱田会長の3度目の挨拶と長沼総領事による乾杯の音頭で始まりました。ビュッフェスタイルの食事とワインなどを楽しみながら、他州からの会員も含め多くの参加者が対面による歓談を楽しまれました。また、名刺交換も活発に行われ、商工会としての親交を深められました。杉本特命理事、竹原特命理事の挨拶で締められ、新年度最初の行事が滞りなく幕を閉じました。

10月23日時点での正団体会員数は116社、正個人会員数は904名、名誉会長および名誉会員は12名、準会員は53名、会員総数は969名となっており、昨年度に続き増加の傾向にあります。

ヒューストン日本商工会の全ての会員と配偶者の皆様、本年度もどうぞ宜しくお願い致します。

(編集部)



濱田会長・挨拶



長沼総領事・乾杯の音頭



岡林校長・ゲストスピーカー



目次	1…商工会常任委員会・総会・懇親会	4…テキサス州の電力事情	7…ヒューストン日記・茶道教室	10…三水会クラブ
	2、3…新理事委員ご紹介	5…航空業界の脱酸素の取り組み	8…JMTXウェビナー	11…あそぼーかい、ワンモアヒューストン
	3…補習校社会科見学記	6…会社紹介	9…テキサスメディカル	12…Houston Walker・議事録・編集後記等



# 特命理事・常設委員長 紹介



## 特命理事

他団体対応・日本庭園

### 杉本 定省

All Nippon Airways Co., Ltd.



今期も引き続き他団体対応特命理事としてハーマンパーク(日本庭園)やグレーターヒューストン日本人会との連携などを担当させていただきます。ヒューストンに来て、1年5か月が経ちました。昨年は経験せずに済んだハリケーンも今夏は体験し、Astros, Texansを本気で応援できるようになり、Texas BBQの味の違いが少しは分かるようになりました。しかしヒューストニアンになるまでの道のりはまだまだ長いな、と家族ととも思いを巡らせている今日この頃です。今年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 特命理事

安全・危機管理  
広報副委員長

### 竹原 優

Marubeni America Corporation



2022年4月にヒューストンに赴任して以来2年半が経ちました。今年は5月の嵐に続き、7月のハリケーン・ベリル上陸といった自然災害が続きました。これからの季節では寒波の恐れもありますので、皆さまにおかれましては日頃から十分な備えを心掛けて頂ければ幸いです。週末は主にゴルフや映画鑑賞をして過ごしていますが、来年1月のヒューストンマラソンにエントリーしたので、ジョギングも始めています。安全・危機管理と広報活動の両面でお役に立てるよう努めて参りたいと思いますので、どうぞ宜しくお願い致します。

## 特命理事

ジャパンフェスティバル<副>

### 川原 孝春

Kuraray America, Inc.



22年3月に赴任して2年半になります。昨年度に引き続き特命理事としてジャパンフェスティバルの副担当を拝命いたしました。9月に行われた2024年のジャパンフェスティバルでは商工会各社様から200名近くに及ぶボランティアの協力を得ることができ、晴天にも恵まれ大盛況で幕を閉じました。協力ありがとうございました。本年度も引き続きご支援を頂き、皆様と共にヒューストン地区における日本文化のプレゼンスの一層の向上を図っていければと思っております。どうぞ宜しくお願いいたします。

## 特命理事

ジャパンフェスティバル<副>

### 泥 克信

Kaneka America Holdings, Inc.



この度のヒューストン勤務は3回目ですが、既に5年半経ちました。その間、2020年から2年間はコロナ禍でほとんど活動できず、実働は実質3年半といった感じです。5年半も駐在すると、その間に多くの方が帰国されて少し寂しい感じもします。JBAHの活動は、ジャパンフェスティバルの副委員長として2年担当させていただきました。今年度も引き続き副委員長として協力させていただきますのでよろしくお願い致します。JBAHも10月から新年度が始まりますが、出来るだけ貢献できれば幸いです。

## 広報委員長

ガルフストリーム

### 稲田 徳弘

Japan Organization for Metal and Energy Security (JOGMEC)



ボランティアで参加して頂いている編集委員と事務局の皆様をリードして頂きながら、月刊の商工会広報誌「ガルフストリーム」の編集を担当しています。昨年度から引き続き、竹原特命理事に広報副委員長を併任いただき、編集作業の運営は大変スムーズに進んでいます。他方で、昨年の読者アンケートにて改めて改善点も見いだされたところ、編集委員一丸となって鋭意対応していきたいと考えております。折からのインフレ、円安に始まり、地政学的なリスクも変わらず高まっている中、大統領選などビジネス環境も相変わらず大きく変動しています。商工会広報誌として、駐在員の皆様にも興味を持って頂けるようなビジネス記事の掲載も継続したいと考えています。

## 企画・調査委員長

セミナー

### 島田 英樹

Japan External Trade Organization Houston (JETRO)



2024年9月に着任しました。これまで中国に2回の駐在経験があり、今回3回目の海外駐在ですがアメリカは初めて。まだ慣れないことも多く、突然の漏水に断水など何故か水まわりの災難に多く遭遇していますが、ヒューストン生活を楽しく過ごしています。商工会ではセミナーや勉強会などの企画・開催を担当します。11月はJMTXさんとの健康管理セミナー、補習校さんとの宇宙セミナー、そして特別講演会と目白押しです。皆さま奮ってご参加ください。またご感想や関心あるテーマなど内容に関するご意見大歓迎ですので是非お聞かせください。

## ヒューストン日本商工会

# 常設委員長紹介 (続き)

JF・文化・ソフトボール各委員長  
は副会長が兼務しています。

ゴルフ委員長  
テキサス会ゴルフ

奥山 久雄  
ENEOS Americas Inc.



2022年4月にヒューストンに赴任して約2年半が経ちました。二十数年ぶりのアメリカ生活、初めてのヒューストン駐在です。今年度、ゴルフ委員長を拝命いたしました。伝統あるテキサス会を楽しみにされている多くの方のために、商工会の皆さまにご協力いただきながら会の運営に取り組んで参ります。前年度に取り組まれた、背広幹事の廃止など運営の負担軽減の流れを引き継ぎ、運営側が過度な負担をせずに、皆さんに楽しんでいただける持続可能な会となるよう微力ながら尽力して参ります。どうぞ宜しくお願いいたします。

教育委員長  
補習校運営委員長

永岡 学  
Sumitomo Corporation of  
Americas



2023年4月にヒューストンに赴任しました。補習校の運営には 本年4月より携わって参りましたが、10月から教育委員長を引継ぐことになりました。ヒューストンの補習校は、普段は現地校の学習や習い事で忙しい子供たちが日本の友達と日本語で学べる場として、文科省から派遣されている校長先生、教頭先生、現地教職員並びに保護者の皆様と一体で運営しております。また、「宇宙に一番近い補習校」という別名にちなんだ宇宙関連のイベントや、商工会会員企業の皆様ご協力の下、社会科見学等の体験授業も盛んです。子供たちの学びの場をより良いものにしていきたいと考えておりますので、引き続き、皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

生活・情報委員長  
図書館/ピーカン活動/古本市等

根本 真樹子  
Kintetsu International Express  
(U.S.A.), Inc.



生活・情報委員会委員長の根本真樹子です。2020年から22年のコロナ禍を経て、現在は、ヒューストンにいらっしゃる企業駐在員の方々とそのご家族が増加しています。生活・情報委員会は、そういったご家族のためのイベントや会合、活動などを可能な限り充実させていければと思っております。もし、ご意見やご要望、ご提案などがございましたら、商工会事務局 ([sansuikai@jbahouston.org](mailto:sansuikai@jbahouston.org)) までお送り頂けますと大変に幸いです。それでは、2024-25年度も、何とぞ宜しくお願い申し上げます。



## ヒューストン補習校 中学部2年 社会科見学記 「明日につなぐれ！」～東芝インターナショナル米国～



9月21日(土)、ヒューストン日本語補習校の中学部2年生36名の生徒と引率の先生方が、工場見学のため、弊社東芝インターナショナル米国社を訪れました。1973年にこの地で事業を開始して以来、弊社では産業用のモータやそれを制御するインバータ、無停電電源装置をはじめ、社会を支える様々な製品をつくってきました。今回の見学では、弊社の主力製品のひとつである車載用モータをテーマに、モータの仕組みや製造工程などを学んでいただきました。

当日は、夏の日差しがまだ残る中、スクールバスに乗って補習校の皆さんが元気よく到着されました。まずは講堂に集合し、弊社概要、モータの仕組みに加え、モノづくりの考え方についても学んでいただきました。生徒の皆さんにも参加いただいたモータ模型の動作実験では、座学や授業で学んだことを活かしながら、みんなで協力し取り組まれていました。

見学タイムでは、弊社製品のショールーム、車載用モータの製造ライン、弊社モータが搭載されているハイブリッド自動車を見学いただきました。車載モータでは、車載品質の維持と量産速度の確保のために、多くの設備を導入しています。様々な機械の動きや作業者の仕事などをしっかりと観察されながら、説明員の話しにも耳を傾け、真剣にメモを取られていました。その真剣さを感じ、多くのことを知ってもらおうと説明時間が長くなってしまいうこともありました。

見学タイムの後には、講堂に戻り質疑応答です。時間が足りなくなるほどの多くの質問をいただきました。「モータに使用している紙の種類は何

か？」など、設計の部品選定における重要部分についての質問もあり、驚かされました。説明員も嬉しくなり、設計の難しさや楽しさについて、さらに興味をもってもらえるような回答をしました。部品調達の仕組みなどについても質問があり、様々な人々が関わってモノづくりがおこなわれていると知っていただけたと感じました。

最後には生徒の皆さんからお礼の言葉をいただきました。日本企業が世界で頑張っていることに誇りを感じたとコメントいただきました。世界で仕事をすることの大変さについても知っていただき、身が引き締まりました。「人と、地球の、明日のために。」私たち東芝の経営理念です。今回の工場見学を通じて感じていただいたことが、生徒の皆さんの明日に繋がる一助となりましたら幸いです。

(東芝インターナショナル米国社 高井 太郎)





# テキサス州の電力事情

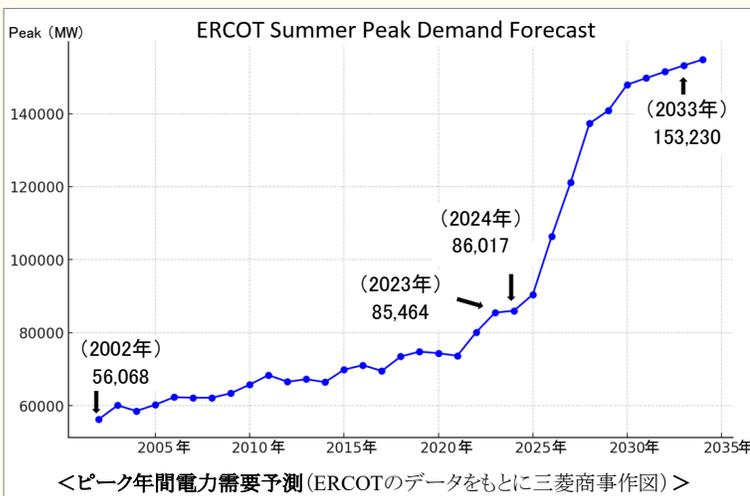
“Everything is bigger”と言われるテキサス州ですが、電力も例外ではありません。

本年6月の米国政府調査機関EIAのデータに依れば、2023年のテキサス州の年間発電量は547TWhで全米トップです。これは米国全体の13%

に相当し、2位のフロリダ州(260TWh)に倍以上の大差をつけるほどです。日本と比べて見ても、同期間の日本全発電量(1,030TWh)の半分にも相当する規模感ですが、更なる急増も見込まれています。今回はその電力事情に目を向けてみたいと思います。

## ERCOTの予測 (テキサス州の電力需要)

本年6月のテキサス州上院の委員会においてテキサス州の電力市場を管理するERCOT (Electric Reliability Council of Texas)から、現状のピーク需要約85GWが2030年頃にかけて153GWまで8割増になるという予測が示され、“Shocking”なニュースとして報道されました。



同ホームページには急増する需要の内訳が公開されていますが、最大要因はOpen AI社の“Chat GPT”に代表される生成AI用データセンターによる電力消費増です。本年3月時点で世界に10,655カ所あるとされるデータセンターのうち、約半分が米国に存在し、中でもダラス・フォートワース都市圏は全米第2位の集積地です。EPRI (Electric Power Research Institute) がまとめた2030年までのデータセンターによる州別電力需要予測を見ても、テキサス州はバージニア州に次ぐ規模の増加が見込まれていますが、これらデータセンター需要に加え、全米一の石油・ガス・化学産業(将来的な水素製造含む)における電化も含む需要増、また、こちらも既に全米一といわれる仮想通貨マイニング(=仮想通貨取引に必要となる複雑な計算処理を行うことで成功報酬として仮想通貨を得る一連のデータ処理)でも電力消費増が予想されています。

## テキサス州の電力供給

全米で最も電力自由化が進むテキサス州内には150社以上の発電事業者、100社以上の電力小売事業者が登録され、600以上の発電所が存在します。石油ガスで有名なテキサス州ですが、再生可能エネルギーの割合(27%)が欧州並み(ベルギー:26%)に高いことも大きな特徴です。風力発電で全米トップ(120TWh)、太陽光発電においてはカリフォルニア州に次いで2位(28TWh)のポジションです。日本国全体(20.3%)と比べても5割程度多く導入されています。

一方、再エネ比率が増加するほど、電力供給が天候に左右されやすくなり電力の安定供給が課題になりつつもあり、足元では供給の52.5%を占めるガス火力発電の重要性が改めて注目されています。

## ERCOT市場の課題

米国内にはISO (Independent System Operators) 並びにRTO (Regional

Transmission Organization) といった特定地域で電力に関する独自の基準・ルールを設定して運用する公的な組織が存在し、テキサス州では電力需要の約9割を供給するISO、ERCOTが殆どの地域を管轄しています。ERCOTは電力系統(グリッド)が地域閉鎖的に独立しています。まさにテキサスの独立心を象徴するモデルとも言えますが、これにより電力制度面において米国連邦政府の規制を受ける事を最小化し自己裁量を大きくしていますが、その反面、電力需給ひっ迫時のバックアップ体制が薄いというデメリットもあります。2021年2月に寒波(Uri)がテキサス州を襲った際、発電所や天然ガス設備の冬場の凍結対策が不十分であったこと、また点検補修のために想定以上の発電所が停止していたこと、悪天候によって再エネの発電量が過度に低くなったことなどが重なり、大規模停電を招きました。その際、電力価格も当時の電力市場価格の上限値である\$9,000/MWhに到達しました(23年度平均価格は\$50/MWh)。スポット価格で電力を購入していた一般消費者が月額100万円以上の請求書を受け取るという事態となり、Uri以降、一般消費者に対する市場価格連動の電力小売商品は法律で禁止されることになりました。

## TEF (Texas Energy Fund)

Uriの反省を踏まえ、ガス火力発電の重要性が再認識され始めています。テキサス州においてエネルギー供給の信頼性を確保するための改善策が求められ、2023年11月、テキサス州上院の超党派の取り組みとして主にガス火力発電所への低金利ローンプログラムを主体とするTEFが州議会にて承認(50億ドル規模)されました。このファンドは州政府の資金拠出により、主に発電所の建設や改修、送電網の強化、そしてエネルギーのバックアップシステムの導入を促進し、特に自然災害や寒波に対応できるエネルギーインフラを整備することを目的としています。先行して募集された主にガス火力発電施設への低金利ローンプログラムには72件の申請が寄せられ、その中から一次審査を通過した17件のプロジェクト(合計発電容量9,000MW超)が本年8月末に発表されました。17件のプロジェクトの選定に当たっては、申請者のプロジェクト経験や資金調達力、技術・財務面でのフィージビリティに加え、立地場所や市場投入までのスピード、採用発電技術等のポートフォリオを考慮して審査が行われました。今後詳細な審査が実施され、採用されたプロジェクトへの融資は2025年12月以降に開始される予定です。電力需要の急激な増加予測も踏まえ、テキサス州のアボット知事らは本ファンドの予算規模を倍増する考えを示しています。このように、テキサス州では再生可能エネルギーと安定的なエネルギー源とのバランスを確保しつつ、電力供給網の信頼性を向上させることを目指しています。

## 結びに

電力が重要なインフラであることは、停電の多い当地にお住まいの皆様には説明の必要も無いことかと思えます。弊社グループにおいても弊社及び関係会社を通じ、テキサス州で急増するデータセンター需要を含め新たな事業機会に注目しております。是非、商工会会員企業の皆様とも情報交換をさせて頂きながら、ダイナミックに変化する事業環境にキャッチアップしていくと共に、地域社会の課題解決につながる新しい事業機会についても議論させて頂きたいと考えております。

(北米三菱商事 電力ソリューションSVP 森永盛太郎)

# 航空業界の脱炭素の取り組み

勉強会・交流会

～SAFを巡る最新動向～

8月26日、ANAの吉川浩平様をお迎えし、勉強会兼交流会を開催しました。勉強会の後は参加した商工会会員メンバーと交流の時間をもちそこでも活発な意見交換が実施されました。

## 航空業界の脱炭素枠組み

航空業界における今日の脱炭素枠組みの出発点は、1997年の京都議定書の時代に遡る。地球温暖化対策は現在に至るまで各国単位の排出削減目標を原則としつつ、京都議定書において例外的に国際航空と国際海運は国連専門機関（航空はICAO、海運はIMO）が独立して管轄する事となった。すなわち、国内外に路線展開する航空会社は、国際線はICAO配下、国内線は各国の国内法制配下、2つの異なる枠組み下で脱炭素を進める事になる。

## ICAO/CORSIAについて

世界に先駆けた国際的な脱炭素規制枠組みとして、2016年の第39回ICAO総会で「国際航空のためのカーボンオフセット及び削減スキーム」(CORSIA)が採択された。CORSIAは、別表の通り2021年から2035年までを3つのフェーズに区切って目標を立てている。現在はPhase 1の段階であり、2024年現在日本を含む126カ国が自発的に参画している。注目すべきは、世界全体の国際航空におけるCO<sub>2</sub>排出量の約20%を占める中国、ロシア、インド、ブラジルの4カ国がPhase 1まで不参加となっている。2027年以降のPhase 2については、全加盟国が基本的に参加を義務付けられる事となる。

ICAO/CORSIAでは、4つの対策手段を掲げ、①運航改善、②新技術の導入を行った後、なおベースライン(排出総量の上限)を超える排出量については③SAFの使用、ないし④市場メカニズムの活用を行い対策する事としている。

Pilot Phaseでは、コロナ禍の影響による航空業界の減便により実排出量が減ったため、航空業界でのオフセット義務が生じなかった。一方、Phase 1ではベースライン変更や航空需要の急回復に伴い、2024年からオフセッ

Phase	Pilot Phase	Phase 1	Phase 2	
年	2021 - 2023	2024 - 2026	2027 - 2032	2033 - 2035
参加国	自発的参加 2021年 88カ国 2022年 107カ国 2023年 115カ国 2024年 126カ国		後発、小島しょ、内陸開発途上国等を除いた全加盟国	
ベースライン	2019年排出量実績の100%	2019年排出量実績の85%		
抑制(オフセット)するCO <sub>2</sub> 量	= (個社排出量) x (全体の排出量増加率*)		= (%Sectoral) x (個社排出量) x (全体の排出量増加率*) + (%Individual) x (個社排出量) x (個社の排出量増加率*)	
Sectoral(全体)とIndividual(個社)	(Sectoral: 100%, Individual: 0%)		Sec. 85%以下 Indiv. 15%以上	

※ ICAO のウェブサイトの内容をもとにANAにて作成

のオフセット需要は1,800~2,700 万CO<sub>2</sub>トン、2021~2035 年の15年間累計では9.8億~15億CO<sub>2</sub>トンに達するとされている。

## ANAグループの取り組み

参考情報サイト

ANAグループでは、中期環境目標として2030年までに実質CO<sub>2</sub>排出量を2019年度比で10%以上削減し、長期目標として2050年の実質CO<sub>2</sub>排出量ゼロを目指している。この移行の道筋を示すものとしてトランジションシナリオを公表、打ち手となる4つの戦略的アプローチとして以下4点を掲げている。

- ① 運航上の改善・航空機等の技術革新
- ② SAFの活用等 航空燃料の低炭素化
- ③ 排出権取引制度の活用
- ④ ネガティブエミッション技術の活用

SAFの導入については、2012年に実施した世界初のSAFによる太平洋横断フライトを皮切りに、2019年には米国のLanzaTech エタノール由来SAFの将来のオフテーク契約を締結、2020年にはフィンランドのNESTE社と共同で羽田空港・成田空港においてアジアの空港初となるSAFのサプライチェーンを構築するなど、アジアの航空会社のリード役としての取り組み行ってきた。

ネガティブエミッション技術の活用についても、CO<sub>2</sub>除去技術DAC(Direct Air Capture)技術に着目し、2023年8月にはヒューストンに本社を置くオキシデンタル・ペトロリアムの子会社である1PointFive社と、航空会社として世界で初めて調達契約の締結を発表した。



## 航空脱炭素の課題

航空業界はHard-to-abateセクターと呼ばれ、打ち手が限られている事から特に脱炭素の難易度が高く、課題も山積している。

第一に、SAFの供給量不足と高止まりする価格がある。現在の全世界のSAF供給量は、ジェット燃料全需比で0.53%に留まり、SAF製造法および原材料の多様化が急がれる。また、SAFの価格は既存ジェット燃料比で2~3倍以上であり、日本においては、GX経済移行債による製造支援や戦略物資国内生産促進税制が用意されるものの、未だジェット燃料との値差は大きく、更なる支援が必要な状況にある。また、2025年1月から始まる欧州のSAF供給義務化により、価格が更に高騰する事も懸念されている。

第二に、SAF普及支援政策の方向性が国・地域により分断している事が挙げられる。欧州は未達時の厳しい罰金を伴うSAF供給義務化を推進する一方、米国では連邦・州レベルの補助により、SAFの価格を既存燃料に近づける真逆の政策が取られている。結果、航空会社のハブ空港所在国によりSAF調達コストに差がつき、国際線競争環境が歪む懸念が呈されている。航空燃料を高価なSAFへ移行するためには、民間の航空会社が対等な競争環境下で事業を行うための国際的なSAF政策の協調・一本化が欠かせない。

第三に、SAFを含む環境対策の推進には、移行コストを社会全体で受け止める仕組み作りも急がれる。運輸セクターはあらゆる産業のサプライチェーンを支える基盤インフラであり、特に航空は、日本との国際間移動および国内長距離移動の大部分と、半導体や医薬品など高付加価値な製品の輸出入を一手に担っている。このため、CO<sub>2</sub>排出量(Scope1/2)・エネルギーのトランジションにかかるコストが極端に集積される構造となっており、現在の収益構造ではSAFの利用が経済的に持続可能でなくなる可能性もある。脱炭素移行コストを航空利用者を含めたサプライチェーン全体で負担する仕組みが必要となる。

講師：吉川浩平氏(全日本空輸株式会社) 経営戦略室 企画部 GXチーム リーダー

2010年 全日本空輸 中途入社  
2010-2011 東京空港支店(羽田空港)にてフロントライン旅客業務  
2012-2021 調達部にて、国内外でのジェット燃料調達業務に10年間従事  
アジア初のSAFサプライチェーン構築および定期運航便への導入  
IATA Commercial Fuel Working Group 常任委員  
2022-2023 経営戦略室 企画部GXチーム マネージャー  
2024- 同チーム リーダー

# 会社紹介

## i-PRO Americas Inc.

正団体会員 代表 江口 将美さん

### 1. 会社の業務内容等について簡単にご説明ください。

## i-PRO The Power of Truth

i-PRO株式会社は2019年にパナソニックより分離・独立したセキュリティカメラの製造販売会社です。弊社、i-PRO Americasは米国・カナダ・中南米の地域販売統括会社で、兄弟会社としてオランダ・シンガポール・オーストラリアに販売会社と中国・蘇州に製造会社を有しています。弊社のセキュリティカメラは本体にAIチップが搭載されている高性能カメラで、顔認証、銃器検出、自動追尾のほか車体やライセンス・プレート認識などが可能です。全米各地の学校区や病院、アリーナなどで使用されているほか、州や郡の警察組織には車載カメラやウェアラブルカメラを提供し、当該地域全体の安全確保に貢献しています。テキサス州の多くの学校区でも使用されており、例えばSpring Branch ISD (Houston Memorial地区)、Austin ISDやArlington ISDでも弊社のセキュリティカメラが活躍していますので、是非ご覧になってみてください。

### 2. ヒューストン/テキサス州の印象についてお聞かせください。

ヒューストンに来る前は、西部劇のイメージ(相当誤ったイメージですみません)があり、カラカラに乾燥した気候を想像していました。しかし、来てみると、湿度が高く驚きました。また、テキサスサイズにも驚かされました。アパートの立体駐車場の「Compact Car Only」の場所に大型のSUV

が駐車されているし、更には、駐車場の天井から吊り下げられている非常灯は、超ド級サイズのピックアップトラックに、しょっちゅう破壊されています。テキサスサイズ恐るべし！一方で、以前住んでいたニュージャージーに比べて、人々の温かみを感じます。英語も比較的ゆっくりで、ありがたいです。韓国の方やベトナムの方も多い街ですね。

### 3. その他、個人的な関心事(趣味等)についてお聞かせください。

太り気味(妻にはドラえもんと言われます)なので、カートに乗らずWalkingでゴルフをしています。ゴルフを始めた頃は、直ぐにプロになっちゃうんじゃないか、と思っていました。しかし、実際は全くそんなことはなく、修業は限りなく続いています。一生続きそうです。これからは、地元のAstrosやRocketsやTexansの観戦・応援をしたいな、と思っています。



## USJP Business Advisors LLC

準会員 遠山 明彦さん

### 1. 会社の業務内容等について簡単にご説明ください。

USJPビジネスアドバイザーズは、2009年にロサンゼルスで設立された日本企業の米国事業に特化したコンサルティング会社です。大手コンサルティング会社出身の16名のコンサルタントが自動車、電子、精密機器、化学、製薬、物流、商社、外食などの日本企業を支援しています。USJPの特徴はサービス範囲が多岐にわたることで、クライアント企業の事業戦略策定、組織変更、プロセス改善、業務外注、IT高度化、M&A実行、内部統制強化などを支援しています。10年に一度しかないような複雑な変革も、オポチュニティとリスクを正しく把握し、実行可能で現実的な計画を策定し、クライアント社員と一緒に段階的に実行することで支援しています。



### 2. ヒューストン/テキサス州の印象についてお聞かせください。

テキサスはすべてが大きいところだと思います。ロサンゼルスからフロリダ州ジャクソンビルまでグレイハウンドバスに乗ったことがあります。テキサスを横断するのに24時間かかりました。私が1980年代に訪れたヒューストンは石油のイメージしかありませんでした。その後にはオイルバス

トで大きなダメージを受けたと思いますが、地元の人々の我慢強い努力により、トップクラスの製造業や医療を持つ全米有数の都市に生まれ変わったと思います。素晴らしいことです。また、私のライフワークの一つはエコ社会の実現ですが、ヒューストンには再生可能エネルギーの世界的リーダーになってほしいと思います。

### 3. その他、個人的な関心事(趣味等)についてお聞かせください。

言語や宗教が異なる場所に旅行し、街をブラブラしながら異文化を体験することが好きです。今年の夏休みは家族4人でクロアチア、ボスニア、スイスに行きました。クロアチアはユーロ圏に入り目覚ましい発展をしています。美しい自然にも恵まれており、観光にもお勧めの目的地です。クロアチアからスイスまでは寝台列車で移動しましたが、国境で夜中に入国審査官が列車に乗りこんで来て少しドキドキしました。スイスではどんどん小さくなる氷河を見て改めて環境問題の深刻さを実感しました。また、体を動かすことも好きです。腹筋やストレッチを毎朝、空手やジョギングを週に数回、ゴルフを月に2回くらいしています。



## 第241回 西川 優花さん



皆さんはZUMBAというダンスフィットネスをご存知ですか。私はインストラクターとしてアメリカでZUMBAを教え始めて、約1年になります。

## 【ZUMBAとの出会い】

Houstonに来て早6年。元々日本でも若い頃にダンスをしていましたが、ZUMBAに出会ったのはこちらに来てからです。渡米して数ヶ月が経ち、車ばかりの生活で運動不足が気になっていたため、スポーツジムのZUMBAクラスを受けてみることにしました。そして、その楽しさに衝撃を受けました。ラテンミュージックとともに、その場でインストラクターの真似をして踊るだけ。振り付けは簡単なので、初めて聞いた曲でも何となく踊ってしまうのがZUMBAの良いところ。一時間ひたすら踊り続け、終わったあとは滝のような汗とともに、素晴らしい充実感と爽快感に包まれました。それからというものの、健康維持と息抜きにもなるZUMBAに夢中になりました。

## 【インストラクターへの道】

数年経った頃、クラスの先生に「Yukaもインストラクターになりなよ！」と背中を押され、思い切って資格を取得してみることにしました。「自分の好きなダンスと音楽で皆を笑顔にできる?」、「ダイエットにもなる?」と思うと、ワクワクしてきました。

インストラクターの資格自体は、丸一日の講習を受ければ取得できます。しかし問題はその後どこで働くか。英語も完璧ではない、こちらで働いた経験もない私ですが、勇気を出してスポーツジムに応募してみました。オーディション当日は緊張の中、実際のクラスのようにデモンストレーション

をしました。広い教室に採用担当者2人と私だけ。気まずい雰囲気の中、「フォー！」だとか「イエイ、カモン！」などと叫びながら、我を捨てて100%の笑顔とダンスで踊り切りました。結果、「エネルギーギッシュでよかったわ!」との言葉をいただき、無事採用となりました。

## 【実際に働いてみて】

現在は週5回のレギュラークラスに加え、たまに代講も受け持っています。私のクラスには多種多様な人種、老若男女の生徒さんがおり、パワフルな方々ばかり。一緒に汗をかきながら皆さんの笑顔を見ていると、嫌なことも忘れてしまいます。

Houstonという土地柄、やはりラテン系の方が多いのですが、クラスが終わったあとに「あなたの心はラティーナね!」と言われると、よし!と皆さんの心を掴めたような気持ちになります。クラスの中には80歳近いレディもいらっしやいます。激しい踊りができなくても、一緒に歌いながら楽しんでくれる様子を見ると、私の方が元気をもらえます。

この仕事を始めて改めて感じたことは、皆さん幾つになってもエネルギーギッシュに人生を楽しんでいるということです。インストラクターという立場でありながら、生徒さんたちから「人生を楽しむ姿」を学ばせてもらっています。ZUMBAは手軽に参加できる健康的なパーティーのようなもの。私も人生をパーティーのように楽しみながら、年を重ねていきたいものです。皆さんもぜひ一度トライしてみてください。



## 小学部6年生 茶道教室



令和6年10月12日、「日本の伝統文化に親しみ、理解を深める」という目的で、ショーイングジャパンの皆様のご多大なるご協力のもと、三水会センター会議室をお借りして本行事が行われることとなりました。当日朝、会場へ移動するバスの中は、児童たちの高まる期待で熱気を帯びていました。

会場には、畳敷きの茶室が出現していました。床の間に「一期一会」の掛け軸、その前には季節にちなんだ花が飾られ、見慣れない光景に緊張した面持ちの子もいれば、表情がパツと明るくなり好奇心と期待が溢れている子もいました。10名ずつのローテーションで、参加者全員がお茶席を体験することができました。礼の種類に始まり、扇子の意味と扱い方、懐紙の使い方やお菓子とお茶のいただき方など、大変丁寧に指導いただきました。

帰校後、茶道体験を終えた児童からは、「初めにお菓子をいただき、そのあとにお茶をいただいたのがとても良いバランスだった。」「あつという間に終わってしまうかと思っていたけれど、畳の上では時間がゆつたりと流れていてじっくりと楽しむことができた。」との感想が聞かれました。

ものや空間だけでなく、時間や季節の移ろいに美を見出し、所作を追求しておもてなしをするを重んじてきた「日本の心」に触れる大変貴重な機会となりました。ご尽力頂きましたショーイングジャパンの皆様にも厚くお礼申し上げます。(ヒューストン日本語補習校 キム千佳)



## 第4回JMTXウェビナー：

### 「アメリカでの妊娠・出産

### ～安心してお産にのぞむために知っておきたいこと～」報告レポート



JMTX(日本テキサス医学振興会)は、ヒューストンを中心としたアメリカ在住邦人に医療情報や日本人医師ネットワークを提供し、適切な医療を受けられるようにすることを趣旨として活動しています。2024年9月14日に「アメリカでの妊娠・出産～安心してお産にのぞむために知っておきたいこと～」をテーマに第4回ウェビナーを開催しましたのでご報告致します。



#### ▲第4回ウェビナーQ&Aセッション

上段左より、生駒成彦医師(司会進行・JMTX)、茨木榮梨医師(JMTX)、タランゴ瑠子氏(グリーンドゥーラ)

中段左より岡林大介氏(在ヒューストン日本国総領事館領事)、渡邊佳恵医師(JMTX)、常盤真琴医師(コロンビア大学病院産婦人科医)

下段左より福田由梨子医師(JMTX)、兒子真之医師(JMTX)、ニコラス・エリック・リンゼイ医師(Blue Fish Pediatrics小児科医)

はじめに産婦人科医の常盤医師より、アメリカでの妊娠出産についてお話ししました。病院の選び方から、出産当日の流れ、産後の様子についてなど、写真を用いながらご説明頂き、具体的なイメージが持た方も多かったのではないのでしょうか。産後の体がいかに痛いのか、また、産後うつリスクファクターなど、産婦人科医として日々お産に立ち会っている常盤先生ならではのリアルな情報が満載でした。どこにいても何回目でも妊娠・出産は緊張するものですが、アメリカにいると頼れる先が限られてしまうのが実情です。だからこそ、情報を集め、相談先を見つけておくことが重要なのだと実感する講演でした。有益な情報がいっぱい常盤先生のインスタ(@makotomd)もぜひチェックしてみてください。

続いて、小児科医のリンゼイ医師より新生児のケアについてお話ししました。日本との違いとして、アメリカではかかりつけ医を作ることがとても重要で、健康診断もワクチンもかかりつけ医のもとで行います。具合が悪くなる前からかかりつけ医を作っておくことが大切です。また、新生児特有の症状である黄疸(皮膚が黄色くなる)、母乳やミルクのこと、赤ちゃんの頭の形をきれいにする「タミータイム」や、ねんねトレーニングなど、子育てする中で気になるトピックをたくさん取り上げて頂きました。ワクチンのスケジュールや緊急受診が必要なのはどんな場合か、といった情報もとても有益でした。

次にグリーンドゥーラのタランゴ瑠子氏より、産前産後の家族サポート、ドゥーラについて講演がありました。「ドゥーラ」という言葉を初めて聞いた方も多かったかと思います。妊娠出産する女性・赤ちゃん・その家族の心身のケアやサポートをする非医療者をドゥーラといい、お産の付

#### 今日お伝えしたいこと

#### —伝わったでしょうか？—

- “妊娠は痛い。出産も痛い。子育てはもっと痛い。”
  - だからこそ、一人で立ち向かうには限界がある。
  - 海外での生活はsafety net(何かあった時のたより先)が限られている。
- 子供を育てるには村が必要。It takes a village to raise a child
- 日本の常識は世界の常識ではない
- システムは変えられなくても、カルチャーはかえられる

▲常盤医師発表スライドより「お伝えしたいこと」

き添いから産後の家事、育児のアドバイスなど、幅広いサポートを行っています。言葉や文化が異なるアメリカでのお産は非常に心細く、孤独を感じるかもしれませんが、ドゥーラという心強いサポーターがいることは、産前産後の女性にとって大きな助けになることと思います。また、グリーンドゥーラという、流産や死産などで喪失体験をした方への特別サポートを行うドゥーラについてもご紹介頂きました。さらに具体的にどのようにドゥーラを探すのか、費用に関してなど、詳しいご説明を頂きました。

最後に、在ヒューストン日本国総領事館領事の岡林氏より、アメリカでの出産に関する必要な届け出についてお話ししました。届け出方法や申請に必要な書類などを、サンプルを示しながらご説明頂きました。その他、日本国籍留保の届け出には3か月の期限があること、出産前に確認が必要な書類等についてもお話ししました。必要のある方は、管轄の日本大使館・総領事館に早めに確認をして頂ければと思います。

今回のウェビナーは280名を超える方にご参加頂きました。ウェビナー中もチャットでの質問がひっきりなしに寄せられ、皆さんの興味・関心が非常に高かったことが伺えます。各スピーカーの方々には、ウェビナー中に寄せられた個々の質問にもその場でたくさん返答いただき、多くの方にとって有意義な会になったかと思います。

ウェビナーの録画とスライド、ウェビナー中に答えきれなかったQ&Aは [JMTXのホームページ](#) に掲載しております。また、同ホームページの医療情報欄にも、より詳しい医療情報が掲載された医療ハンドブックやお勧めクリニックリスト、日本語が通じる医療従事者リストが掲載されていますので、ぜひご覧ください。(JMTX理事 茨木榮梨)

**免責事項:** JMTXウェビナー及びこの報告レポートは情報提供が目的ですので、これらを理由に専門家の医学的な助言を軽視したり助言の入手を遅らせたりすることがないようにご注意ください。担当者は資料作成にはできる限り正確に記載するよう努めていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。これらの内容に関連して、不利益を被る事態が生じたとしても、講演者及び日本テキサス医学振興会関係者は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。なお、これらは個人の見解であり各関係者が所属する組織の見解ではありません。

今月号は奥山紘平先生から消化器外科ご専門の富田晃一先生にバトンが移りました。

## 第238回

## 移植ってなに？

MDアンダーソン癌センター 腫瘍外科

富田 晃一



みなさん、こんにちは。今年2月からヒューストンに来ました富田晃一と申します。私は日本の東京・八王子で消化器外科医として働いていました。消化器外科はお腹の中の消化に関する臓器や腸などを手術する科ですが、私はその中でも肝臓や膵臓などの手術を主に行っていました。現在はMDアンダーソン癌センターの腫瘍外科で、生駒成彦先生の元で膵臓の手術をはじめとする様々な研究を行っています。

私の主な仕事は癌の手術ですが、日本では肝臓・膵臓・腎臓などの臓器移植も行っていました。今回の話題はこれまで本誌に未寄稿だった臓器移植についてお話ししたいと思います。移植という言葉自体は聞いた事があると思いますが、実際に移植医療がどのようなものかイメージが湧かない方も多いのではないのでしょうか。今回はその辺りを分かりやすく解説します。

### そもそも移植って何？

臓器移植とは、臓器がひどく障害されて正常な機能を失い、そのままでは命の危険や生活に支障が出る場合に、他の人から新たな臓器を提供してもらって快復を図る医療です。現在も医療の発達でさまざまな新薬の開発や再生医療の研究が進んでいますが、それでも臓器が重度に障害されると完全に元に戻す事はできません。このため新しい臓器が必要になるのです。臓器が障害されて新しい臓器を受ける人の事を「レシピエント」、臓器を提供する人の事を「ドナー」と呼びます。

### どのような人が移植を受けるの？

腎臓では例えば透析患者さんが対象になります。日本は世界で2番目に透析する人が多い国です。肝臓ですと、C型肝炎やアルコールによる肝硬変、肝臓癌、先天性に肝臓が障害される病気などが対象になります。例えば皆さんもご存知の方ですと、政治家だった河野洋平さんが肝硬変で息子の河野太郎さんから肝臓をもらって肝移植を受けました。他にも安岡力也さんが肝移植、セレーナゴメスさんが腎移植を受けています。成人だけでなく小児の移植もあります。

### 臓器移植にはどのような種類があるの？

移植する臓器には多くの種類があります。日本で件数の多い順でみると、腎臓、肝臓、肺、心臓、膵臓の順になります。また臓器を提供して頂く

ドナーの状態によって大きく2種類に分けられます。一つはご家族などから臓器をもらう「生体臓器移植」、もう一つは亡くなられた方から臓器をもらう「臓器移植」です。亡くなられた方から臓器を頂く場合は、臓器全体をそのままもらいます。一方で生体臓器移植の場合は、例えば腎臓なら片方、肝臓なら半分から2/3をもらい、残った臓器でもドナーの方が十分健康に生きていけるよう厳重に配慮します。

### 他人の臓器をもらっても大丈夫なの？

移植された臓器の細胞は移植を受けた人の細胞と入れ替わる事はなく、一生涯元の細胞のままです。このため新しい臓器を受け取った方は免疫抑制剤と呼ばれる免疫機能を弱める薬を一生涯飲み続ける必要があります。免疫抑制剤を飲む事で移植された臓器に対する拒絶反応を抑える事ができ、臓器の正常な機能を保つ事ができます。このため血液型が違って臓器の移植が可能です。

### 移植後の生活はどうなるの？

免疫抑制剤を飲んでいくつかの注意点を守って頂ければ、臓器が障害される前の元気な生活をまた送れるようになります。移植前の状態として、肝不全ですと黄疸やひどい倦怠感、腎不全ですと週3回の透析がよくありますが、移植後はこれらがなくなり患者さんは見違えるほど元気になります。また例えば移植後であっても妊娠・出産が可能な場合が十分あります。

### 日本とアメリカで移植医療の違いはありますか？

実は癌などに比べて移植医療は日本と海外で大きな格差ができてしまっており、日本はかなり後進国です。日本では生体臓器移植が主に行われており、健康なドナーの方にメスを入れなければならないという問題があります。一方海外では亡くなられた方からの臓器移植が主に行われており、亡くなられた方からの臓器提供の数に関してアメリカは人口あたり世界1位で、日本はその67分の1しかありません。臓器移植の件数も例えば腎移植ではアメリカは人口あたり日本の5倍以上、隣国の韓国でも3倍以上が行われています。肝移植に至っては人口あたり日本の約10倍の件数がアメリカで行われています。これらの理由として、日本では移植医療の啓発・普及が遅れているため亡くなられた方からの臓器提供が増えないという実情があります。これはつまり日本では臓器移植を受けたくても受けられない人がたくさんいるという事で、一般にはあまり知られていない大きな問題です。日本でもぜひ欧米並みに臓器移植が、特に亡くなられた方からの臓器移植が増えてもっと多くの患者さんが助かればと願っています。

### 移植について何か思い出はありますか？

日本で私が担当した患者さんで、中年の女性の方がいました。原発性胆汁性肝硬変という生まれつきの肝臓の病気が徐々に悪化し、痩せてひどい黄疸や時々気を失うような状態で、そのままでは1-2ヶ月の命でした。治療の手段は肝移植しかなかったところ、長年連れ添った旦那さんが肝臓を提供してくれて肝移植を無事成功させる事ができました。術後の彼女は別人のように元気になり、白くなった肌と満面の笑顔で私達にお礼を言うてくれました。退院時に旦那さんと一緒に手を繋いで帰っていく姿は今でも心に残っています。移植でしか救えない命がある事をぜひ皆様にもご理解頂ければ幸いです。

次回は、内分泌代謝内科の川北恵美先生です。川北先生は私と同じマンションで、島根大学から留学でいらっやっています。読者の中にはアメリカに来て体重が増えたり血糖値やコレステロールの値が心配な方も少なくないと思いますので、専門医のお話が聞ける貴重な機会になるでしょう。

# 三水会クラブ Back to School

## 第2弾



◀前列右から2人目が小島さん

9月の三水会クラブでは、初めてアメリカで学校生活を始められたお子さんをお持ちの方を対象に、メンタルヘルスの観点からどのようにお子さんのサポートをできるかを話させていただきました。昨年の同テーマでのレクチャーとほぼ同じ内容ですので、ご興味のある方は[Gulf Stream Vol.49 No.3](#)をご参照ください。

参加された方からのお悩みや、どうすればいいのか迷っている、などのお話を伺い、どのように寄り添うことができるかを一緒に考えました。お話を聞いていると、お母さん方が優秀でしっかりした方々であるが故に、お子さんたちにも同じような頑張りや生活態度を求めているのかな、という印象を受けました。現地校にも補習校にも元気に通学して、宿題もやっ



て、英語が話せなくてもめげずに生活するなど、求めているものが非常に高いということ、そして既にお子さんたちは一生懸命頑張っているということをお母さん方自身が認識することが大事だと思いました。

アメリカで生活を始めたご両親の中にも、「アメリカって日本と違って面白いなあ!」「英語話せないけど、まずハローって言えればいいか!」と楽観的に受け止める人と、「アメリカって何でこんなに適当なの?」「英語も話せないで、どうやって生活していけばいいの?」と悲観的に感じる方、千差万別です。これは、お子さんたちも同様で、英語が話せなくても、毎日苦なく現地校へ通い、容易に遊び相手もできてしまうお子さんもいれば、日本に帰りたい、給食まずいし、お菓子もまずい、日本語でおしゃべりしたい、と思われるお子さんもいらっしゃるでしょう。

嫌々でも毎日現地校へ通学している、そして日本語補習校にも通っている、宿題にも取り組んでいるのであれば、まずお子さんが頑張っていることを認めてあげることが大事だと思います。そのうえで、どのようにサポートすることが最良であるか、一人一人のお子さんの特質を考慮した支え方を見つけていくことが重要なのではないかと思います。

(テキサス州認定心理カウンセラー 小島理絵)

Back to School企画の第1弾は、ガルフストリーム[2024年8月号](#)に掲載しております。併せてお読みください。

# 三水会クラブ アメリカでの安全運転をサポートするために

先日、三水会クラブのイベントに講師として参加させていただきました。私は運転教育インストラクターとして、主に駐在員やそのご家族の皆さまを対象に、アメリカでの運転免許取得を支援しています。今回のセミナーでは、アメリカにおける交通ルールの基本を解説し、参加者の不安や疑問にお答えする機会をいただきました。

### <セミナーの内容>

講義は約2時間にわたり、主に以下の内容を取り上げました。

- アメリカの交通ルールの基礎
- 事故が起こりやすいシチュエーションとその回避方法
- 運転を始める前に必要な準備事項(トラブルシューティングの準備など)

また、講義後には各テーブルを回りながら1時間ほど、参加者からの個別の質問にお答えしました。特に「運転免許の取得方法」や「日本との交通ルールの違い」についての質問が多く寄せられ、皆さまの関心の高さを実感しました。

### <動画による交通ルール解説の好評>

今回のセミナーでは、視覚的な理解を深めるために交通ルールを解説した動画も活用しました。この動画は特に好評をいただき、参加者からは「実際の運転シーンを想像しやすくなった」「ルールを具体的にイメージできた」といった感想が寄せられました。動画の活用により、講義内容がより身近に感じられたようです。

### <安全な運転のために>

アメリカでの生活において、運転は欠かせない要素の一つです。しかし、慣れない環境での運転には不安も伴います。事故を防ぐためには、まず交通ルールをしっかりと理解することが重要です。特に、アメリカでは赤信号時の右折のルールなど、日本とは異なるルールが存在します。正しい知識を持つことで、安心して日々の移動ができるようになります。



### <今後のサポートについて>

私のミッションは、駐在員やそのご家族の皆さまがアメリカでの生活にスムーズに馴染み、安全に運転できるようお手伝いすることです。免許取得を目指す方だけでなく、「パーパードライバー」で久しぶりに運転を再開する方へのサポートも行っています。今後も、参加者の皆さまが安心して運転を始められるよう、個別レッスンや免許取得サポートを充実させていく予定です。

### <最後に>

アメリカでの運転は、単に移動手段であるだけでなく、生活の自由度を広げる大切なスキルです。今回のセミナーが、参加された皆さまの運転への一歩を後押しできたのであれば幸いです。今後も、こうした機会を通じて、皆さまのサポートを続けてまいります。



講師：佐藤直実  
First Step Driving Schoolの運営  
テキサス州公認・運転教育インストラクターとしてヒューストンを拠点に活動。ドライブレッスン、運転免許取得サポート、筆記試験のオンライン講座を通じて何かと不安の多いアメリカでの運転を日本語で楽しく学べるようお手伝いしています。

# ピーカンキッズ ～あそぼーかい～



朝晩は涼しくなり、過ごしやすい時間が増えてきました。さて、9月のあそぼーかいでは、時期の行事について触れました。あそぼーかいのマスコットキャラクターのトラおくん、トラ子ちゃんから「防災の日」「敬老の日」「お月見」のお話がありましたよ。

**防災の日** 1923年9月1日に起きた関東大震災を教訓に制定されました。もし地震が起きたら机の下に隠れたりダンゴムシになったりして頭を守ろう！ということで、みんなで丸くなってダンゴムシになりました。テキサスでは地震が起きることはありませんが、「地震の時はダンゴムシ!」ということを知っていていたら嬉しいです。

**敬老の日** 今年は9月16日が敬老の日でした。おじいちゃん、おばあちゃんを大切にすることということで、トラおくんとトラ子ちゃんも電話したり、お手紙を送ったりしておじいちゃん、おばあちゃんと交流をしたようです！

**お月見** 今年は9月17日がお月見の日でした。トラ子ちゃんが「おだんご食べたよ〜!」と嬉しそうに教えてくれました。美しい月を見ながら食べるお団子は格別でしょうね。また、今月の工作はお月見がテーマでした。「お月様にはうさぎさんがいるんだって」「お団子はどこに貼ろうかな？」などとお話しながらみんなで工作を楽しみました。



## ●大型絵本「とんとんとん」

お友達のかずき君のおうち遊びに行こうとしますが、ドアがたくさんあって、どのドアがかずき君のおうちかわかりません。ここかな?と、「とんとんとん」とドアを叩くと…?

子どもたちも一緒に「とんとんとん!」と声を出してノックしてくれました。ドアを開けるたびに様々な住人が出てきて、そのたびに歓声が上がったり、ビックリしたりしていました。



## ●体あそび「とんとんとん ひげじいさん」

リズムに乗って、ひげじいさん、こぶじいさん、てんぐさん、めがねさんに変身していきます。悲しいメロディになったり、ノリノリだったり、ちょっと面白くなったり…(ひげじいさんのひげがバサッと落ちたり、こぶじいさんのこぶが取れたりします)体を一緒に動かすことで子どもたちの緊張もほぐれていきました。

## ●歌「山の音楽家」

この歌ではこりすがバイオリン、こりはフルート、たぬきはたいこを演奏します。楽器を持って演奏する真似をしながら歌うと子どもたちも真似をしてくれました。特にたぬきのたいこがわかりやすいこともあってか、人気でした。

## ●お誕生日会

あそぼーかいでは毎月お誕生日会をしています。7月、8月はあそぼーかいが無かったので、7月～10月(翌週から10月が始まるので10月も)がお誕生日のお友達も一緒にお祝いしました。お祝いの歌をみんなに歌ってもらい、嬉しい、恥ずかしそうな表情のお誕生日のお友達でした。

お楽しみがいっぱいのあそぼーかいに、ぜひ遊びに来てくださいね♪

# ワン!モア ヒューストン

## Vol.14 犬の登録制度について

川原志津香(家庭犬しつけインストラクター)

ヒューストンやその近郊では、犬は狂犬病の予防注射を接種することに加えて、登録が義務付けられている地域が多いことをご存知でしょうか。犬の登録制度は”Dog registration”や”Pet license”などと呼ばれ、その地域の犬の飼育頭数を把握して、ドッグパークなど犬のための設備を整えるためにも大きな役割を果たすものです。また、迷子になった犬を確実に飼い主の元に返すためにも役立つ大切な制度です。



タグ各種、そして体内にはマイクロチップを装着して万全です

大きな物音に驚いて散歩中に逃げしまった、庭のゲートがきちんと閉まっていなくて出て行ってしまった、あまり考えたくはありませんが、ふとした瞬間に犬を見失ってしまうことはあり得ることで。また、ハリケーンのような災害に見舞われたときに、飼い主とはぐれてしまう犬も少なくありません。備えあれば憂いなし。犬の首輪には身分証明書代わりのタグをつけていれば飼い主のところに帰りやすくなります。日本から犬を連れて引っ越ししてきた方や、新しく犬を迎えて一緒に暮らし始めた方は、お住まいの地域のルールを調べてみてください。

犬の登録には、狂犬病予防注射の証明書、マイクロチップを装着している証明書、そして登録費用の支払いなどが必要です。動物管理局(Animal control services)によって異なるため、詳細はそれぞれのウェブサイトをご覧ください。例えば、ヒューストンやClear Lakeにお住まいの方

は、City of [Houston BARC](#)(Bureau of Animal Regulation and Control)、Katyの方は、[FBCAS](#)(Fort Bend County Animal Services)、Katyの中でも、より旧市街に近いCity of Katyの方は、[City of Katy Animal Control](#)、Cypressの方は、[HCPHVPH](#)(Harris County Public Health Veterinary Public Health)、League Cityの方は[LCAC](#)(League City Animal Control)、というように、管轄が分かれています。

今回改めて調べてみると、Sugar Landのように、犬の登録の必要がない地域もありました。その場合は、狂犬病予防注射済タグやペットショップなどで作成できるIDタグを首輪につけることをお勧めします。近年は多くの犬がマイクロチップを体内に装着しているのでタグがなくても安心と思われがちですが、マイクロチップの情報が日本の住所のままであったり、保護施設やブリーダーから迎えたままであったりすると、迷子になってどこかで保護されても、飼い主の元に連絡が来ないので再会が難しくなってしまいます。情報がアップデートされているかもこの機会に確認しましょう。

我が家はKatyを管轄しているFBCAS(上記参照)に登録を済ませて、タグをアクアの首輪につけています。アクアが歩くたびにチャリチャリと音がします。小型犬の場合は、たくさんのタグをつけていると重たくなってしまいますので、どれか1つを身につけておくなど工夫してみてください。

無事に登録を済ませてこれで万全!と気を抜いてしまいがちですが、FBCASの登録は、1年に1回と決められていて毎年登録の更新が必要です。忘れないように毎年手続していきたいと思っています。



今年の登録が完了してライセンスタグが届きました



青:フォートミッドのライセンスタグ  
赤:狂犬病予防注射済タグ  
銀:ペットショップで作成したIDタグ

日時: 2024年10月23日(水) 17:00~17:50  
 会場: United Way of Greater Houston CRC  
 出席者: 32名(名誉会長、名誉会員1名、常任委員24名、正会員代理人5名、事務局長)  
 欠席者: 92名(うち会長委51名、代理委任5名、無回答36名)

**\*会員消息**

本日現在の会員数は、名誉会員12名、正個人会員904名(正団体会員数: 116社)、準会員53名で、総会員数は969名となっている。9月末をもって、準会員のCharles Foster氏1名が退会となった。詳細については、商工会HPの「[会員専用ページ](#)」を参照。

令和6年度 (2024-2025) 商工会年次総会 議事録

日時: 2024年10月23日(水) 18:00~19:00  
 会場: United Way of Greater Houston - CRC  
 出席者: 58名

議事録詳細は、商工会HPの「[会員専用ページ](#)」を参照。

**ヒューストン日本語補習校 教員募集要項**

**【職種】**

1. 常勤教員(学級担任) <幼/小/中/高等部>  
 勤務時間: 8時00分~15時00分(毎週土曜日)  
 会議がある場合は~16時00分。授業は4時間以上を担当。
2. 年間講師<高(国語・数学)/中(国語・数学・社会・理科)/小(国語・算数・社会)  
 年間を通して、1日4時間以上授業を受け持つことができる方。  
 詳しくは下記事務局までお問い合わせ下さい。  
 ヒューストン日本語補習校事務局 email: jlssh@jeihouston.org

**編集後記**

私のヒューストン生活が始まったばかりの頃、ガルフストリームの記事から、ピクニックや生活情報委員会関連の(当時の婦人部)活動に参加して、多くの情報やつながりを見つけたことができました。子供たちがお世話になった補習校でも友人をみつけて、少しずつ当地での生活になじんでいきました。思い出深いのは親子で参加したソフトボール大会のダラス戦。仲間と共に汗を流しスポーツを通じて築いた温かくて固い絆は何にも代え難い収穫でした。この九月、ダラスにて熱戦が繰り広げられたようですが、参加された皆様には多くの感動や学びがあったことでしょう。記事を読みながら、その光景を目に浮かべました。

先月は恒例の茶道教室を補習校の六年生が体験されました。最近では日本にいても量の上でお点前を頂戴する機会が少ないです。限りある授業時間を有効な学びの場とするため、事前資料に目を通してこられた皆さんは、始まった瞬間から心を静めて、お茶席を体験しました。ショーイングジャパンは昨年の経験をもとに、更に工夫を重ねて当日を迎えましたが、皆さんにお茶のお味と共に気づきがあったようで嬉しく思います。

これらは最近の活動の一端ですが、今後もヒューストン商工会は当地での皆さまの生活をより楽しくして、有益なものとなるよう活動してまいります。さて、来たるホリデーシーズンを心穏やかに過ごしてください。(寺田友子)

ガルフストリームは毎月15日発行です。

編集委員および投稿募集中!

問い合わせ先: [sansuikai@jbahouston.org](mailto:sansuikai@jbahouston.org)

ガルフストリームは、ホームページでも閲覧可能です。

<https://www.jbahoustongulfstream.com/>

発行: ヒューストン日本商工会

発行責任者: 濱田 哲

編集委員長: 稲田 徳弘

構成・編集: ガルフストリーム編集委員一同

免責事項: 本紙掲載の情報について、できる限り正確な情報を提供するように努めておりますが、正確性や安全性を保証するものではありません。情報が古くなっていることもございます。掲載された内容によって生じた損害等の一切の責任を負いかねますのでご了承ください。また本誌に掲載したリンク先の第三者サイトについて、同サイトに掲載されている内容を確認していません。ご自身の責任でご利用ください。

**三水会センター**

**ホリデー期間の休館日及び図書返却日のお知らせ**

ホリデーシーズンに三水会センター(図書館、商工会及び補習校事務局)が下記日程で休館となります。なお、休館に伴い図書返却日も一部変更されません。

**感謝祭**

休暇期間: 2023年11月28日(木)~11月30日(土)

貸出変更: 2024年11月14日(木)~11月16日(土)3週間の貸し出し

**年末年始**

休暇期間: 2024年12月24日(火)~2025年1月3日(金)

貸出変更: 2024年12月10日(火)~12月20日(金)4週間の貸し出し

- ・詳細は図書館カウンター及びホームページにてご確認ください。
  - ・延滞された場合には休館日も延滞金に計上されますのでご注意ください。
- 尚、悪天候などによる図書館の急な閉館に関する情報は商工会ホームページに掲載いたしますので、各自お確かめの上、ご来館いただきますようお願い致します。

**Houston Walker**

**Nov. 29 & 30**

**USHER**

@Toyota Center

昨シーズンのスーパーボウルで全米を魅了したアシャー。9作目となるニューアルバム”Coming Home”をリリースし、ツアータイトル通り、”Past, Present, Future”にも目が離せない3夜連続ライブとなりそうです。

**Dec. 4**

**JUSTIN TIMBERLAKE**

@Toyota Center

ジャスティン・ティンバレイクが新アルバム”Everything I Thought I Was”をひっさげて、5年ぶりのツアー”The Forgot Tomorrow World Tour”をトヨタセンターで開催します。

**Dec. 10 -29**

**FROZEN**

@The Hobby Center

ディズニー「フローズン」がブロードウェイミュージカルスタイルで登場。イルミネーションが輝くシアターディストリクトへファミリーで氷の世界を楽しみに出かけてみてはいかがですか。

**- クリスマスイベント -**

**Nov. 15 - Dec. 29**

**CHRISTMAS CAROL**

@Alley Theatre

チャールズ・ディケンズ作「クリスマスキャロル」が今年も上演されます。意地悪でどケチなスクルージおじさんが、幽霊との出会いによって次第に変わっていく心温まる名作です。

**Nov. 29 - Dec. 29**

**THE NUTCRACKER**

@Brown Theater

これぞホリデー・トラディション! ヒュー

ストンバレエ団によるバレエの名作「くるみ割り人形」です。チャイコフスキーの名曲と優美なダンスをお楽しみください。

**Dec. 1**

**HOLIDAY SING-A-LONG**

@First Presbyterian Church of Houston

日本で年末といえば「第九」ですが、アメリカではハレルヤコーラスの「メサイア」がポピュラー。ミュージアムディストリクトにあるこちらの教会イベントは、ヒューストンで最も長く続くシングアロングで、飛び入りで参加できます。

**Dec. 12, 14, 15**

**VERRY MERRY POPS**

@Jones Hall

クリスマス飾る定番曲をブロードウェイの歌手とヒューストン交響楽団合唱団がお届けします。12/14にはキッズ向けクリスマスコンサートHOLLY JOLLY HOLIDAY、12/20-22にはヘンデルのメサイアコンサートも企画されています。

**Dec. 13-15**

**The STORY FLIGHT**

@First Baptist Church (Katy)

教会ではキリストの降誕劇を再現するステージが行われます。ボランティアによって行われる劇でも歌って踊る本格的なパフォーマンスで、讃美歌やクリスマスの意味に興味がある方におすすめです。教会メンバーでなくてもチケットを購入すれば鑑賞できます。



内容は記事執筆時点の情報に基づいています。変更になる場合もありますので、お出かけ前に各自で最新の情報を主催者サイト等でご確認ください。